

今町町部地区まちなかコミュニティ

基本情報

【活動地域（人口・世帯数）】
見附市今町町部地区（6,689人・2,693世帯）
【実施期間】
令和7年6月～
【活動概要】

既存の店舗や空き店舗の一角において、地域外の事業者（ハンドメイド作家や菓子店など）が入り「ショッピングinショップ」としてその日限りの合同営業を行うことで、来場者が既存店舗を訪れるきっかけを作り、賑わいの創出に寄与するものである。地域住民のみならず、他地域からも広く集客を狙うことで、商店街の活性化の一助とする。

取組の内容

●既存店舗や空き店舗で、地域外の出店者が同時に営業する「ショッピングinショップ」という形を取ることで、地域内外からの集客を得る。そのような中で、今町の伝統が残る既存店舗（明治創業の麴から自店で製造している味噌店や明治後期創業の老舗菓子舗等々）や新しくできたカフェ、地元民に愛される焼肉店などを来場者に知ってもらうことで、今町商店街への継続した集客につなげる。

●今町商店街の徒歩圏内に位置する観光スポット“道の駅パティオにいがた”との連携を今年度から実施することで、当該事業の参加者増加を狙う。道の駅には年間100万人以上の来館者があることから、その集客力を生かし来館者を今町商店街へ誘導するとともに、運営主体の事業者からも協力を得て、連携した取組を実施する。

●長岡造形大学の学生による来場者参加型のコンテンツを行うことで、来場者と商店街のつながりが生まれるような取組を実施する。また、若く新しい知見を得ることで、今後の事業の質を継続して高めていくための足掛かりとする。

●地元中学生から協力してもらう場面を設定することで、地元愛を醸成すると共に、地域と関わる機会を創出する。

【地域外人材・団体】 地域外の事業者
長岡造形大学大学院造形研究科
三条市立大学UNIBOX（ゲーム製作サークル）
見附市地域おこし協力隊
道の駅パティオにいがた（健幸めっけ）
新潟工科大学学生

取組のきっかけ（地域課題等）と目的

【地域の現状と課題】

今町商店街は、店舗数の減少や店舗同士が協力して行っていた連合会がR7.6月末をもって解散したことから、今後更に商店街のつながりが薄れてしまうことが危惧されており、店舗同士が関わり協力する機会を作ることが当該地区にとって必要となっている。過去には商店街の複数店舗が協力して主催していたバザールも行われていたが、新型コロナの流行以降、店舗の減少と店主の高齢化により実施されなくなり、商店街に活気が生まれるイベントが減っている。

【目的・目指す姿】

地区内にある今町商店街を舞台にしたまちあるきのイベントである「今町商店街まちあるきマルシェ」を実施しており、世代を超えた人々の交流の場を創出することやまちを歩く中で、地域の魅力を知ってもらうことを目的としている。

取組の成果

●昨年度33ブース（出店者）から今年度は40ブース（出店者）へ増加しており、地域外の事業者との交流を通じて新たな事業や取り組みへの意欲を創出することができた。また、来場者数については今年度見附市よりバスデータ（人流）の提供を得たところ、通常の45倍から90倍の人流数となっている。来場者数については昨年度1.1倍の1,100名程度と予測できる。更に、企画段階からこの事業に関わっていきたく話す方もおり、今後の継続的な関わりを見込める人材を発掘することができた。

●長岡造形大学との連携も今年度から実施し、学生による来場者参加型コンテンツ「いままちに神様生まれる」という取り組みと三条市立大学UNIBOX（ゲーム製作サークル）の製作ゲームのコンテンツの連携により、来場者参加型コンテンツの質が高まった。また、若く新しい知見を得ることができ、今後のコンテンツ検討の足掛かりとすることができた。

今後の展望と課題

●当該事業への参加をきっかけとして、気軽に今町商店街の店舗に足を運んでもらい、継続的に商店街を訪れる人を増加させていく。

●事業への出店を通じ、地域と関わりを持つことで、空き店舗等への出店のきっかけ作りとする。

●長岡造形大学から引き続き協力を得ることで、「若者」「よそ者」の視点からの新しいアイデアを得たり、外部団体と地域の関係性を創出していく。

●アンケート結果を活用した次年度以降の事業の改善・継続を図る。



大風伝承館 スタンプラリー会場
やさしいおもちゃ・Mucca・chocoo



さとう八百屋
In 米与米穀店



造形大学と三条市立大学UNIBOX
の連携した来場者参加型コンテンツ
（石の蔵内でのゲーム実施体験）